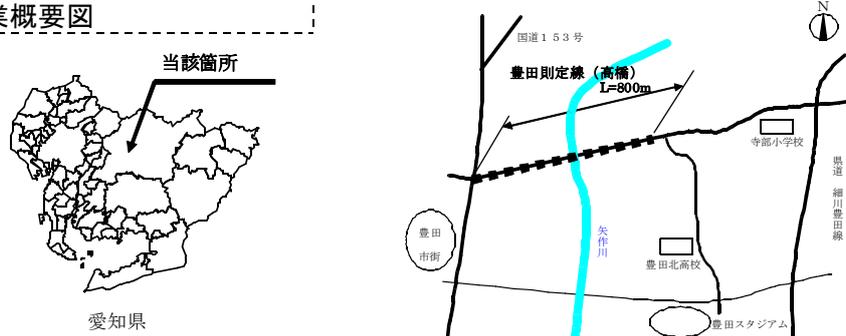


## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：中部地方整備局 都市整備課  
担当課長名：中西 賢也

事業名	都市計画道路 3・3・4 豊田則定線 <small>とよたのりさだせん</small>	事業区分	街路	事業主体	愛知県
起終点	自：愛知県豊田市日之出町1丁目 <small>あいちけん とよたし ひの でちよう ちようめ</small> 至：愛知県豊田市寺部町5丁目 <small>あいちけん とよたし てらべちよう ちようめ</small>			延長	0.8 km
<b>事業概要</b> 本路線は豊田市内の内環状線と外環状線の2つの環状道路に接続し、中心市街地から住宅街を通り、放射状に北東方向へ結ぶ幹線道路である。 現況は、幅員が狭い2車線道路で、歩道が狭小で危険であるとともに、交通混雑が発生している。さらに、一級河川矢作川に架かる高橋は、幅員が5.5mと狭小でボトルネックとなり、大型車のすれ違いが困難で交通混雑を招いていることから、早期に架け替えが必要な状況となっている。こうした状況に対処するため、本事業では交通の円滑化や安全な歩行者空間の確保を行い、都市機能の向上を図るものである。					
H11年度事業化	S46年度都市計画決定 (H12年度変更)	H15年度用地着手	H15年度工事着手		
全体事業費	82億円	事業進捗率	13.6%	供用済延長	0.0km
計画交通量	19,000台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 57/68億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 192/192億円	
	(残事業)	事業費：56/68億円 維持管理費：0.28/0.28億円		走行時間短縮便益：187/187億円 走行経費減少便益：4.7/4.7億円 交通事故減少便益：0.54/0.54億円	
<b>感度分析の結果</b> _____					
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（渋滞損失時間の削減） ・地球環境の保全（CO2排出量の削減） <span style="float: right;">他6項目に該当</span>					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・市街地のより一層の発展、交通円滑化及び交通安全の確保のためにも地元豊田市からも早期完成が望まれている。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・本路線を通るバス路線は、豊田中心市街地と足助方面を結ぶ重要な公共交通機関となった。(H16.3) ・本事業東側では、平成19年12月に豊田寺部土地区画整理事業(20.9ha)が事業認可された。 ・本事業西側区間では、豊田市により国道153号以西約240mの区間が平成17年度事業完了した。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・用地取得率：64.7%（面積ベース） ・平成23年度から橋梁工事開始予定					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・河川管理者等関係機関との協議、検討作業に時間を要したが、すでに協議は完了し用地買収を進めている。本路線に架かる高橋の1期線の整備については、平成27年度末に暫定整備完了を公表する「完了期間宣言」をしており、平成27年度暫定供用、平成31年度事業完了を目指す。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・新工法による大規模なコスト削減はないが、再生材の使用等によりコスト削減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用等により環境負荷の低減に努める。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、本事業の緊急性や必要性が増大しており、整備による事業効果もかなり期待できると考えられる。				
<b>事業概要図</b> 					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。